

ダムを  
正しく理解し、  
地域に活かす！

「みちのくダム湖サミット」とは  
東北六県の国直轄管理ダムの活力ある水源地域の創出に向け、観光・学習など交流の場として、積極的に利活用を促進するための意見交換や情報交換を行うために開催するものです。併せて、ダムと地域との関わり方の助言や情報発信等も行います。

第12回

入場無料

# みちのくダム湖サミット in 釜房

開催日

令和3年 **11月25日** (木)  
14:00~17:00 (開場13:00~)

会場

川崎町山村開発センター 3階/ホール  
〒989-1501 宮城県柴田郡川崎町前川裏丁175-1



## プログラム

第1部

基調講演

テーマ **最近の河川環境行政の話題**

■ 内藤 正彦氏 国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課長

第2部

活動報告

標題 **東北大学漕艇部、釜房湖での8年**

■ 報告者 小松 香於里氏 東北大学経済学部3年

第3部

パネルディスカッション

テーマ **ダムを正しく理解し、地域に活かす!**

■ コーディネーター 西村 修 教授 [環境生態工学]  
東北大学 大学院 工学研究科 環境生態工学研究室

■ アドバイザー 内藤 正彦氏 国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課長

■ パネリスト  
宮城県 川崎町長 小山 修作氏  
山形県 長井市長 内谷 重治氏  
福島県 三春町長 坂本 浩之氏



ダム湖サミット宣言

◆ 小山 修作 川崎町長  
東北ダム事業促進連絡協議会管理研究部会 部会長

次回開催地あいさつ ◆ 内谷 重治氏 山形県長井市長

《同時開催》釜房ダム50周年記念パネル展

問合せ先



川崎町 地域振興課  
TEL.0224-84-2117

主催 東北ダム事業促進連絡協議会管理研究部会

後援 国土交通省 東北地方整備局 釜房ダム管理所

釜房ダム50周年記念特設サイトはこちら▶  
※釜房ダムのHPからも特設サイトに移動できます。





# みちのくダム湖サミット in 釜房

## 開催にあたって

今回で12回目となる「みちのくダム湖サミット」は、ダム完成から50年という節目を迎える「釜房ダム」が位置する宮城県川崎町で開催します。

ダム湖サミットでは、他のダム水源地域との情報交換を通じて、魅力的で活力ある水源地域の創出を目指していき、ダム水源地域の利活用を促進するための意見交換を行います。

これまで地域の安全や暮らしを支えてきたダム及びダム湖は、近年では観光資源として活用されるなど「インフラツーリズム」としての可能性の広がりが地域の活性化にも資することから、未来に向けた地域の資産としてのダムを共に考える機会とします。



コーディネーター  
西村 修 氏



アドバイザー  
内藤 正彦 氏



パネリスト/川崎町長  
小山 修作 氏



パネリスト/長井市長  
内谷 重治 氏



パネリスト/三春町長  
坂本 浩之 氏

# ダムを正しく理解し、 地域に活かす！

## プログラム

13:00 開場・受付開始

14:00 開会 主催者あいさつ ◆ 小山 修作 川崎町長  
東北ダム事業促進連絡協議会管理研究部会 部会長

14:05 来賓あいさつ ① 國友 優 氏  
国土交通省 東北地方整備局 河川部長  
② 高橋 大 氏  
東北ダム事業促進連絡協議会会長/横手市長

14:20 基調講演

第1部

テーマ 最近の河川環境行政の話題

■ 内藤 正彦 氏 国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課長

15:00 活動報告

第2部

標題 東北大学漕艇部、釜房湖での8年

報告者 小松 香於里 氏 東北大学経済学部3年

15:20 休憩

15:30 パネルディスカッション

第3部

テーマ ダムを正しく理解し、地域に活かす！

コーディネーター 西村 修 教授 [環境生態工学]  
東北大学 大学院 工学研究科 環境生態工学研究室

アドバイザー 内藤 正彦 氏 国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課長

パネリスト 宮城県 川崎町長 小山 修作 氏  
山形県 長井市長 内谷 重治 氏  
福島県 三春町長 坂本 浩之 氏

16:50 ダム湖サミット宣言 ◆ 小山 修作 川崎町長  
東北ダム事業促進連絡協議会管理研究部会 部会長

16:55 次回開催地あいさつ ◆ 内谷 重治 氏 山形県長井市長

17:00 閉会

## 参加申込みはこちら

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会場の座席数に限りがあり、会場が満席になった場合は、隣接建物に「パブリックビューイング会場」をご用意しております。また、申込み多数の場合は、抽選となります。ご了承下さい。

★当日はYouTubeによる生配信もおこないます。  
YouTubeのURLは、釜房ダム50周年記念特設サイトをご覧ください。



釜房ダム  
50<sup>th</sup>